

◇ 湿度って大切だけど ◇

私達のカラダには、湿度はとても大切です。喉や皮膚にとっては直接的に関係し、健康に大きく関わってきます。

冬期間は外気に含まれている水蒸気が少なく、隙間の多い家や換気量を多くすると、室内の湿度が極端に下がり、乾燥感が強くなる傾向にあります。そのため、家の中の湿度を上げるために、加湿器を用いたり、室内に洗濯物を干したりして室内の水蒸気量を増やすことをしております。

暖房時の快適な温湿度は、温度20℃前後、湿度は40～50%が良いとされています。それは、全館暖房で居間だけではなく全室が均一な温度状況にあり、家全体の隙間（C値といいます）が1 cm³/m³以下の時が条件になります。

全体的な気密断熱でない家では、人のいる居間だけの湿度が高くなり、廊下など、暖房していない部屋の温度が低く、相対湿度が高くなり結露やカビなどが発生しやすくなります。

北海道の冬期間は、洗濯物がカチカチに凍ってしまうので、多くの洗濯物を家の中に干す事になり、大量の水蒸気が低温部分の窓や、押入れの中などに凝縮されて結露になりカビになってしまうのです。

温暖地では洗濯物を外で乾燥させますが、昨今のPM2.5 や黄砂、花粉などと、外干しにすることでの弊害も多くでてきているようです。

「ファースの家」は、家の外皮（外気に面した壁）の内側通気層を調湿した空気を循環させております。押入れの壁の中を空気が循環しているのです。循環空気は、床下のファースシリカ（ファース工法専用部材）が湿度を一定化させ、空気汚染物質も浄化させています。保湿効果を維持し、換気空調も温度だけではなく、湿度までも熱交換してくれる住む人のカラダに優しい住宅と言えます。

これから梅雨時期となり、外部湿度も上がってきますが、ファースシリカがしっかりと調湿致します。是非とも「ファースの家」をご体感してみてください。価格面も含め、「ファースの家」が選ばれることに自信があります。

◇ デザインそれとも機能それとも使い勝手 ◇

家づくりは、どのような材料が良いのか、どんな設備機器を選べば良いのか、使い勝手をどのようにすると良いのか、地域によっても優先する順位も異なり

色々とお悩みのものです。

屋根を瓦にするか、コロニアルが良いか、金属屋根も悪くなく、屋根形状も切妻か、寄棟か、降雪地ではスノーダクト、フラット屋根なども検討課題となりますが、地域・土地・気候風土・生活スタイルによっても変わってきます。

外観をスッキリとスタイリッシュにみせるためには、軒を出さずに片流れ屋根にする場合、瓦ではなく金属屋根の方がフィットします。

メンテナンス面では、焼き瓦がいいのですがデザイン的にはつり合いません。軒がない屋根のデメリットは、雨が壁を伝わる量が多くなり開口部からの漏水リスクも高まります。また夏場の日射が直接入ってしまうこともあり、屋根ひとつとってもデザイン、使い勝手、機能など考える要素が多いのです。

最終的な決断はお施主様ですが、お施主様一人一人の想いをカタチにしていくオーダーメイドの家づくりを提案するのが私達設計者の使命だと思います。それには主観的に、「これが絶対いい！」という提案の仕方ではなく、その事のコストも含めたメリットやデメリットを伝え、妥協できる部分、できない部分をしっかりとヒアリングしながら、住宅を創っていくこととなります。

お施主様にとっては一生一代の家づくりとなります。そのお施主様ご家族が幸せに暮らせるためのお打ち合わせには相応の時間がかかります。

「ファースの家」は、構造上の機能性能が、お施主様の個性を生かした世界に一つだけのオリジナル、オンリーワン住宅を提供できます。

（著 ハウジング事業部 北村真奈美）

幸太の知恵袋

肌が焼けて痛いとき

これから日焼けをしやすい季節だね。日焼けは百害あって一利なし、なんてさわがれてるしねえ。

知らなかったら、「紅茶の水風呂」が日焼けに効くってこと。日焼けしてボロボロになった肌の角質を、やさしく包んでくれるから気持ちいいらしいよ。

できるだけ濃く出したポット一杯の紅茶を、水風呂に入れるんだよ。そしてその中にゆっくり浸かると、肌の火照りや炎症が治まっちゃうんだ。お茶には殺菌作用もあるから、ますますいいねえ。

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで！



ファースの家

検索

